



平成22年
2010.02.15

No.1168

デザインは平松 梢さん(永木町一丁目)

発行：松山市役所／編集・総合政策部広報課／毎月1日・15日 ☎948-6705・☎934-2578・http://www.city.matsuyama.ehime.jp/



力強く弓を引く高橋さん(左)



かけ飯の量に声も出ない越智さん

お役者てこずる白飯3合

立岩地区

山麓に残る伝統

「猪木の弓祈禱」

ゆみぎとつ

高縄山麓の谷あい、静けさが息づく立岩地区・猪木では、約370年続くといわれる伝統行事「猪木の弓祈禱」を毎年1月6日に行い、豊作と厄除けを祈願します。射終えた後、碗にてんこ盛りの白飯を食べる「かけ飯」は奇習にも見えます。地区住民はこの行事が終わると、ようやく正月が来たと感じるそうです。



谷川を挟み、30メートル離れた的を狙う射手

保存していただく。5つかまた お役に立ちます



位置図

猪木の弓祈禱の射手は「お役者」と呼ばれ、今年選ばれたのは地区縁者の越智岩男さん(北条辻)と高橋大輔さん(北条辻)。

住民数6人、3世帯の過疎集落が約50人の見物客でにぎわう中、お役者は30メートル離れた的に108回射す。

この行事の特異性は、射終えた後に約3合の白飯を食べる「かけ飯」。「残すと不作になる」との言い伝えから食べきらなければなりません。

かけ飯の前に雑煮のもちを12個食べておく風習があり、2人はてこずるもすべて平らげ無事役目を務めました。

お役者が初めての高橋さんは「父や叔父も経験した伝統行事を後世に残したいです」と話しました。

見物客の猪木祥智さん(高岡町)は「祖父から同姓の地域行事があることを聞き初めて訪れましたが、かけ飯の量に度肝を抜かれました」と驚きの表情を見せていました。

県内における弓祈禱などの弓祭りは今治地方に多く伝承されていますが、市内には猪木のほか同地区の小山田・庄府にも残っています。

お問い合わせは、観光産業振興課 ☎948 6557・☎934 1764へ



お薦めのワインを振る舞うワインクィーン

会場では、姉妹都市のドイツ・フライブルク市から来松したワインクィーンが自ら薦めるワインを振る舞ったほか、アメリカ・サクラメント市を紹介するクイズやケーキ販売などにも多くの来場者が足を止めました。

また友好都市の韓国・平澤市からは6人が来松。会場で作るチヂミやキンパプ(韓国のり巻き)などに、来場者

姉妹・友好都市との交流や環境学習などを楽しむ「メッセ・まつやま2010」が1月23・24日にアイテムえひめで開催され、延べ約1万8000人の人出でにぎわいました。

まつやま

国際交流・環境意識の啓発も

約1万8000人でにぎわう

市花ツバキシリーズ ⑩「戸室」



花は、濃紅色の一重、小輪で筒咲き。樹勢は、立性で強い。花期は、3〜4月。石川県原産。

主な内容

- ◎しまはく・プレイVENTで島の魅力が満載 3面
- ◆松山市のまちづくり債 2面
- ◆市民ガイド ... 4~7面
- ◆第4回まつやま農林水産まつり開催 8面



来場者を乗せて出発する本市所有の電気自動車

このほかリサイクル家具即売会、古着販売などエコをテーマにした出展や電気自動車の展示・同乗体験会などにも多くの人が集まり、市民の環境意識の高さをうかがわれました。

お問い合わせは、地域経済課 ☎948 6710・☎934 1844へ